

【1月22日情報】新型コロナウイルスの院内感染発生について

令和3年1月21日、入院患者さん2人、退院患者さん1人、および病棟担当職員2人の計5人が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

当院では、当該病棟において院内感染が発生していると捉え、現在、以下の対策をとっています。

- ・当該病棟を閉鎖し、入退院を制限するとともに、入院患者さんの院内移動を制限しています。
- ・陽性者と接触のあった職員4人の就業を停止しています。
- ・当該病棟の入院患者さん全員および検査が必要と判断された患者さんに対しPCR検査を行っています。
- ・当該病棟に関わる業務を行った全職員（委託業務員含む約200人）にPCR検査を行っています。

なお、外来診療および救急は、通常どおりです。

当院では、院内感染クラスターの教訓を踏まえ、「感染疑い者の早期発見」「初期対応の迅速化」「感染教育の徹底」を重点対策として取り組み、感染防止の徹底と安全な医療の提供に努めてまいりました。

しかし、再びこのような事態を招き、患者さんならびに関係者の皆様に御心配をおかけし、大変申し訳ございません。

現在、感染状況の把握と拡大防止に全力であたっております。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

令和3年1月22日

青梅市立総合病院 院長 大友 建一郎